



阪大生らによるオーラルヒストリー演習報告会 1970 年・大阪万博の時代 地域住民の記憶と経験を聞き取る

7/22 (金) 14 時～@浜屋敷 (吹田歴史文化まちづくりセンター)

❖ 概要

大阪大学文学部日本学専修が提供するオーラルヒストリー演習／文化交流史演習は、例年聞き取りを実施してきました。本年度は、開催から半世紀以上が過ぎた 1970 年の大阪万博をとりあげます。地域のあり方が変わる節目となったこの巨大なイベントは、人びとにどのように記憶され、またそれぞれにどのような影響を与えたのでしょうか。オーラルヒストリーを学ぶ大学生が、万博の記憶とその背景にある語り手の当時の暮らしについて聞き取り、考えたことを報告します。

当日は、お集まりいただいた地域の方からも思い出を聞かせていただき、交流を深めたいと思っています。一人一人の生きた経験に学ぶことを通じて、私たちの歴史と未来を考えていきたいと思います。

つきましては、本イベントのご周知と当日のご取材・出席をお願い致します。

❖ イベント概要

【日 時】 7 月 22 日 (金) 14:00 ～ 16:30 (13:00 開場)

【場 所】 浜屋敷 (吹田歴史文化まちづくりセンター)

545-0025 大阪府吹田市南高浜町 6-21

【対象者】 とくに限定無し

【講演者】 オーラルヒストリー演習 (大学院人文学研究科) /
文化交流史演習 (文学部) の各受講生

【参加費】 無料

【定員】 約 40 名



会場：浜屋敷 写真

❖ 2022 年度のオーラルヒストリー演習の特徴

本演習では、この 2 年間はコロナ関係の聞き取りをしていたので、久しぶりに地域の方への聞き取りを実施することができました。万博の研究は近年進展しており、中心人物や展示論、地域基盤整備の観点の成果がありますが、「ふつうの人びと」にとっての万博経験の語りは、記録の量が少ないと言えます。

■ 担当教員の専門分野について

業績等 <https://researchmap.jp/read0147438>

1979 年生。日本近現代史、とくに地域社会の歴史について。(主な業績に『「他者」たちの農業史』京都大学学術出版会、2014 年) 研究方法としてオーラルヒストリーに関心を持ち、現在、日本オーラル・ヒストリー学会研究担当理事。

Press Release

■ イベント詳細

第一部：聞き取り結果の発表（7 グループ×約 10 分）

休憩（15 分）

第二部：参加者との懇談会(30 分)

ふりかえり（30 分）

第一部では受講生がつくるグループ 7 班が、それぞれ自らが行った聞き取りの報告をします。他地域からの来客を迎え入れた人、会場で医療に携わった人、万博でコンパニオンをつとめた人など、さまざまな万博とのかかわり方とその前後の人生を聞き取ります。

第二部では、ご参加いただいた方からお話を聞くなどして、地域住民の方の記憶に触れていきたいと思えます。学習発表を通じて、地域の人々と交流し、次なる聞き取りへとつなげることが狙いです。

聞き取りの成果は秋までに報告書としてまとめる予定です。